

リントツ集合郵便受箱ポストシリーズ用 「プッシュ錠」取付説明書

このたびは、リントツ集合郵便受箱ポストシリーズ用「プッシュ錠」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの説明書に目を通していただき、ご理解の上、末永くご使用ください。

号室のお客様の解錠番号

解錠番号シールは、この枠内に貼り付けて大切に保管してください。

※ 附属の管理用番号シール(A+3桁数字)は解錠番号の管理用番号です。郵便受箱の投入口から見える内部に交換前のシールが貼ってありますので本錠前のシールに貼り変えてください。

■ 管理用番号の一例

A301

解錠番号シール
貼付位置

プッシュ錠について



① ボタンがリセットされている事を確認します。ボタンが押された状態になっている場合は、レバーを引くとボタンがリセットされます。



④ さらにそのままレバーを引いた状態で手前に引くとドアが開きます。(ドアを開ける前にレバーを戻してしまうとボタンがリセットされますので、ボタンを押し直してください。)



② 解錠番号のボタンを押してください。(押す順序は、関係ありません。)



⑤ 郵便物を取り出し、ドアを閉めます。ボタンはドアを開けた時にリセットされているので、ドアを閉めるだけで施錠されます。



③ レバーを引くと解錠します。(間違った解錠番号を押した場合は、扉が開かずにボタンがリセットされますので、正しい解錠番号のボタンを押し直してください。)

〈解錠番号の一例〉

No. ※※※
1234

※ この図は解錠番号の一例です。お客様の解錠番号は、付属の解錠番号シールを確認してください。解錠番号シールは、紛失しないように大切に保管してください。

ドアが開かない場合について

- 1 大量の投函物が詰め込まれていると、解錠されずドアが開かない場合があります。投入口から出来るだけ投函物を取り出し、錠前の施錠部分にスキマを開けてください。(少量の投函物でも錠前の施錠部分に挟まっている場合もあります。)
- 2 解錠番号を押してレバーを引いても解錠できない。スムーズに動かない。
また、解錠番号ボタンが押せない・リセットできない場合は、錠の内部にホコリ等が詰まっている可能性があります。市販の錠前用潤滑剤スプレーを錠内部にスキマ(レバーのスキマ等)から注入して、ボタン・レバーを数回ガチャガチャと動かして注入した潤滑剤を馴染ませてください。(錠前用以外の潤滑剤は使用しないでください。)

アフターサービスについて

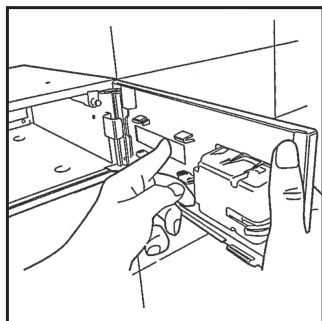
本製品は、納品日から2年間で製造上に起因する故障が生じた場合は、無償で修理いたします。(納品書は大切に保管してください)
(ただし、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。)

本製品は、郵便受箱ポストシリーズ用の部品です。
当社の製品以外で使用された場合は、当社はその責任を負わないものといたします。
なお次の場合は保証期間中でも「有償保証」といたします。

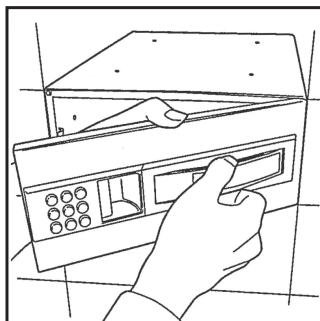
- 1 不適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- 2 弊社が定める取付説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
- 3 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
- 4 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- 5 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊的行為による不具合

リントツ集合郵便受箱ポストシリーズ用 「プッシュ錠」 取付説明書

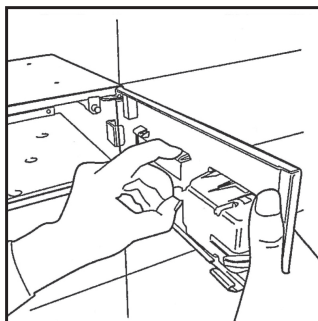
プッシュ錠の取り換え手順



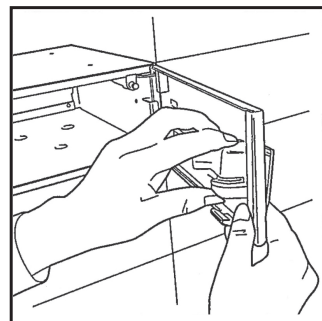
①-1



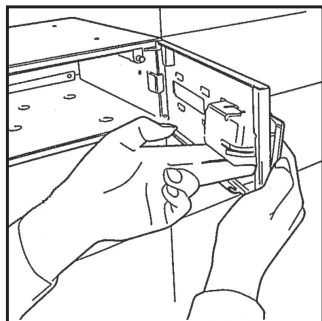
①-2



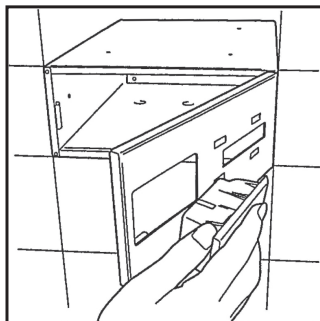
②



③-1



③-2



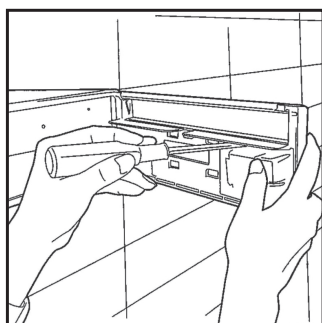
③-3

- ①最初に、ネームパネル(名札入れ)を取り外します。
ドアのウラ側から名札部分を押し込むと透明なアクリル板が反り出しますので、ドアのオモテ側からアクリル板を取り外してネームカードも取り外します。
- ②ネームパネルのウラ側のツメ(4カ所)を押して、オモテ側に取り外します。
- ③次に、プッシュ錠を取り外します。
ネームパネルと同じくツメ(4カ所)を押して、オモテ側に取り外します。
- ④プッシュ錠の取り付けは、取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。
(プッシュ錠・ネームパネルは、オモテ側から押し込みます。
全てのツメがパチンとはまり込むまで押し込んでください。)

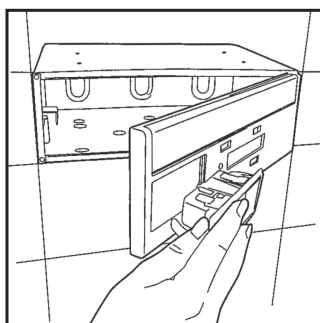
※作業の際は、ドアの端面等でケガをしないように十分ご注意ください。

※また、ドア軸部分に無理な力が掛からないように十分ご注意ください。

ポステC-805PSの場合



①



②

- ①上記手順と同じですが、プッシュ錠の上側のスキマが狭いのでマイナスドライバー等を使用してツメを押し込んで取り外してください。

リントツネットショップについて